

平成23年度 薩摩川内市事務事業評価表

1 事務事業の位置付け (Plan)				内部評価者名 課長・室長・支所長	中島 哲郎
事務事業名	薩摩川内はんやジュニア大会			担当者	園田 健一
所管部課名	教育部 文化課			事業の根拠 (根拠法令)	
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設管理 <input type="checkbox"/> 内部管理				
総合計画上の 位置づけ	施策の 基本方針	政策 (章)	地域の特色を活かした教育・文 化のまちづくり	主要施策 (節)	地域文化の保存・継承
				施策 (項)	文化活動の推進
予算科目等	会計	一般会計		款	教育費
	項	社会教育費		目	文化振興費
	事項	文化振興事業費		細事項	文化振興事業費

事業の概要

本市に古くから伝わる「はんや踊り」のコンテストを開催することにより、市内の小・中学生に踊る機会や他校の演技を鑑賞する場を設け、演技を発表する喜びや伝統文化の大切さを実感させる機会を与えるとともに、踊りを通して学校(学級)の協調性及び連帯感を深め、「はんや踊り」の保存・継承を図ることを目的とする。

2 事務事業の実施 (Do)

事業の内容	対象 (誰を、何を対象とする事業か)	市内の小・中学生		事業開始年度		平成22年度		
	手段 (市がどのような活動をするか)	学校(学級)単位でチームを編成し、はんや踊りのコンテストを開催する。		活動指標 (市として何をを行うか?)	指標名	各学校への参加促進		
					最終目標値	59校		
	意図 (どのような目的で事業を行うか)	小・中学生に演技を発表する喜びや伝統文化の大切さを実感させる機会を与えるとともに踊りを通して協調性・連帯感を醸成するとともにはんや踊りの保存・継承を図る。		成果指標 (活動をした上で、目標となる成果をどのように設定するか?)	指標名	参加チーム数		
最終目標値					25チーム			
コスト・指標の推移	項目		単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 (見込み)	平成24年度 (見込み)	平成25年度 (見込み)
	事業費	国・県支出金	千円					
		その他						
		一般財源			929	929	969	1,000
		合計(A)		0	929	929	969	1,000
	従事職員数	人		0.10	0.10	0.10	0.10	
	人件費(B)	千円	0	800	800	800	800	
	従事嘱託員数	人						
	人件費(C)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト	千円	0	1,729	1,729	1,769	1,800	
活動指標の推移	校/年	校/年	13校/年	14校/年	15校/年	16校/年		
	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年		
成果指標の推移			13チーム	14チーム	15チーム	16チーム		
	実施回数	回	回	回	回	回		

事業費の主な支出内容(事業内容がわかるよう、支出する主なものを記入してください)

報償費(優勝旗、トロフィーなど) H22 133,660円
 印刷製本費(ポスター) H22 115,500円
 使用料賃借料(バス借上げ料) H22 大型4台 中型4台 小型6台 計 14台 504,000円

3 事業の視点別評価 (Check)	
妥当性	対象・手段の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある <input type="checkbox"/> 妥当でない (上記選択の理由) イベント当日だけでなく出場に向け、多くの児童等が長時間にわたり練習を行うため達成感や協調性を身につけることができる。
	市が関与すべき妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 市で実施すべき <input type="checkbox"/> 民間でも可能 <input type="checkbox"/> 民間で実施すべき (上記選択の理由) 参加資格は市内の全小中学校を対象としており、教育委員会(市)の主催による実施が望ましい。
効率性	事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 事業費の大半が、児童の送迎用のバス借上げ料であるため削減の余地はない。出場校の増加によってバス借上げ料は増加することも考えられる。
	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> ある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地はない (上記選択の理由) 最小限の職員で運営を行っており、これ以上人件費の削減は考えられない。
有効性	成果の達成度 <input type="checkbox"/> かなり高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い (上記選択の理由) 本年度より計画的に各学校に訪問し、本イベントへの参加を促すため、参加チームの増加が期待できる。
	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> かなりある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度ある <input type="checkbox"/> ほとんどない (上記選択の理由) 現在、参加を希望する学校のみが本イベントに出場しているが、学校への参加勧奨を実施することにより出場チームの増を図る。
4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価 (一次)	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 <input type="checkbox"/> 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	上記方向の理由 現状のまま小・中学生の参加による大会継続の方向で進めるが、中学生の参加状況がない状況である。
	改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画 中学校に対して参加勧奨を強化する。 参加範囲について、市内幼稚園及び保育園の参加も可能か検討するとともに、参加者の底辺拡大を図り、大会の活性化を図る。
内部評価 (二次)	評価者名 _____
	内部評価結果 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い 有効性 <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> 低い
	今後の改革の方向性 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの上で継続 <input type="checkbox"/> 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善 <input type="checkbox"/> 移管 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 上記の改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画(内部評価一次と違う部分) ・参加促進手法の研究 ・事業目的と成果の検証